

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	良好な生活空間の創出																					
計画の期間	平成21年度 ~ 平成24年度			交付対象 静岡県																		
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 沿道に人家が連担している地域のうち騒音が環境基準を超えている箇所において、低騒音舗装を敷設することにより騒音を軽減又は緩和し、沿道環境の改善を図る。 電柱や架空電線により良好な都市景観が損なわれている箇所において、電線類を地中化することにより良好な街並みを創出し、かつ、都市災害を防止する。 																					
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所 (L=13.53km)のうち、低騒音舗装を敷設した割合を32.5%(H21)から80.3%(H24)に向上する。 																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th colspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21当初)</th> <th>中間目標値 (H 末)</th> <th>最終目標値 (H24末)</th> </tr> <tr> <td>① 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所のうち、舗装の敷設割合 低騒音舗装の敷設割合 = 低騒音舗装敷設の累計 (k m) / 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所 (13.53 k m)</td> <td>32.5%</td> <td>—</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							定量的指標の現況値及び目標値	備考			当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H24末)	① 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所のうち、舗装の敷設割合 低騒音舗装の敷設割合 = 低騒音舗装敷設の累計 (k m) / 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所 (13.53 k m)	32.5%	—	80.3%	②			
定量的指標の現況値及び目標値	備考																					
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H24末)																			
① 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所のうち、舗装の敷設割合 低騒音舗装の敷設割合 = 低騒音舗装敷設の累計 (k m) / 緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所 (13.53 k m)	32.5%	—	80.3%																			
②																						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,071 百万円	A	1,035 百万円	B	0 百万円	C	36 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3%												

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ			
第2期 (H20~H24)		第3期 (H25~H29)	
分野名	環境・景観	分野名	
目標名	良好な生活環境の確保	目標名	
指標名	夜間騒音の環境基準達成率	指標名	
	目標値 (H24)	72%	目標値 (H29)

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H21	H22	H23	H24			
6-A1	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	修繕	(主) 富士裾野線	低騒音舗装工 L=1.35km	富士市 一色					64	○	
6-A2	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	修繕	(主) 藤枝大井川線	低騒音舗装工 L=0.49km	藤枝市 青木					40	○	
6-A3	道路	一般	静岡県	直接		国道	修繕	(国) 135号	低騒音舗装工 L=0.60km	熱海市 伊豆山					35	○	
6-A4	道路	一般	静岡県	直接		国道	修繕	(国) 150号	低騒音舗装工 L=0.60km	磐田市 白羽					40	○	
6-A5	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	修繕	(一) 沼津停車場東沢田線	低騒音舗装工 L=1.13km	沼津市 高島本町					146	△	
6-A6	道路	一般	静岡県	直接		国道	修繕	(国) 301号	低騒音舗装工 L=0.70km	湖西市 古見					40	—	未実施
6-A7	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	修繕	(一) 島田金谷線	低騒音舗装工 L=1.20km	島田市 金谷					40	—	未実施
6-A8	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	修繕	(一) 富士由比線	低騒音舗装工 L=0.40km	富士市 松岡					30	—	未実施
6-A10	道路	一般	静岡県	直接		都道府県道	電共	(一) 沼津停車場東沢田線	電線共同溝設置工 L=0.50km	沼津市 北高島町					500	△	H28
6-A11	街路	一般	静岡県	直接		S街路	電共	(都) 沼津南一色線	電線共同溝設置工 L=0.50km	沼津市 北高島町					100	△	H28
合計												1,035					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H21	H22	H23	H24			
										合計				0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
										H21	H22	H23	H24			
6-C1	道路	一般	静岡県	直接		計画策定	低騒音舗装効果維持対策	効果減退抑止対策計画策定	藤枝市 田沼 他					36	○	
										合計				36		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
6-C1	既に敷設されている低騒音舗装の効果減退の抑止対策実証実験などを行い、計画を策定して、計画的に沿道の環境改善を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

(参考) 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

【H24】GのNo.1、62、146～147、170、208 【H23】GのNo.1、99～100、177

(別添「事業実施計画」参照)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・(主) 富士裾野線(富士市今泉)や(国)150号(磐田市白羽)等の、沿道に人家が連担している地域のうち騒音が環境基準を超えている箇所において、低騒音舗装を敷設した結果、騒音が軽減又は緩和され、結果として沿道環境が改善された。

定量的指標の達成状況

指標①(緊急的に沿道環境の改善に着手する必要がある箇所のうち、舗装の敷設割合)

最終目標値

80.3%

目標値と実績値に差が出た要因

最終実績値

57.4%

平成23年度に事業計画(採択要件)を見直し、低騒音舗装の実施箇所を変更したため目標値と実績値に差が出た。

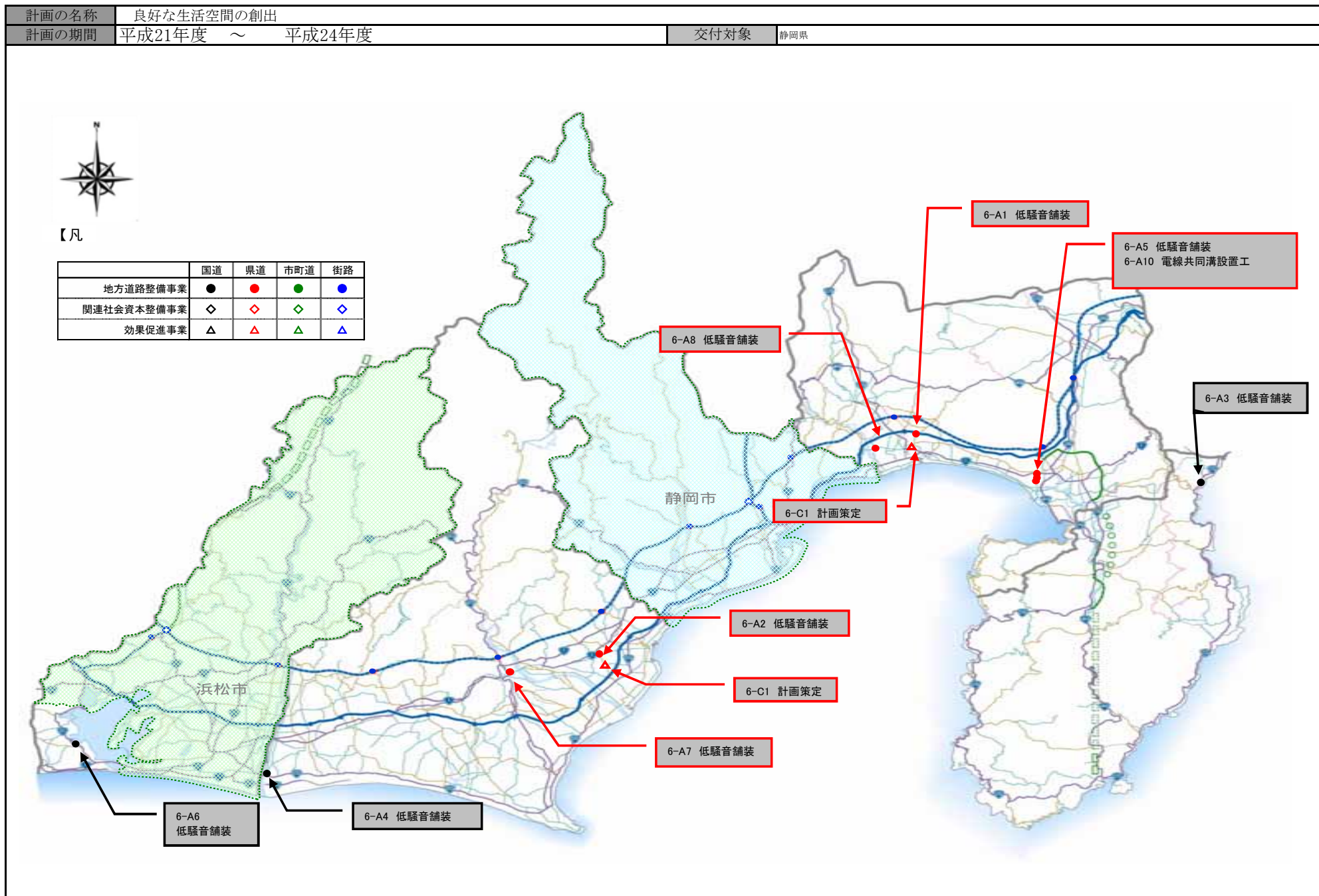
定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況
(必要に応じて記述)

既設の低騒音舗装の路面を清掃し、騒音レベルの追跡調査を行うことで、低騒音舗装の効果減退抑止対策(路面清掃)を検証ができた。

3. 特記事項(今後の方針等)

今後も、計画的な沿道の環境改善に向けた各種事業に取り組む。

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

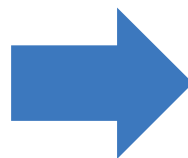


事業効果の発現状況(例)

基幹事業(沿道環境改善事業(低騒音舗装))

沿道に人家が連担しており、騒音が環境基準を超えている(主)富士裾野線(富士市今泉)において、低騒音舗装を敷設し、騒音を軽減又は緩和し、沿道環境が改善されました。

(主)富士裾野線(富士市今泉)

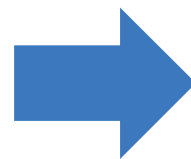


事業効果の発現状況(例)

基幹事業(沿道環境改善事業(低騒音舗装))

沿道に人家が連担しており、騒音が環境基準を超えている(国)150号(磐田市白羽)において、低騒音舗装を敷設し、騒音を軽減又は緩和し、沿道環境が改善されました。

(国)150号(磐田市白羽)



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

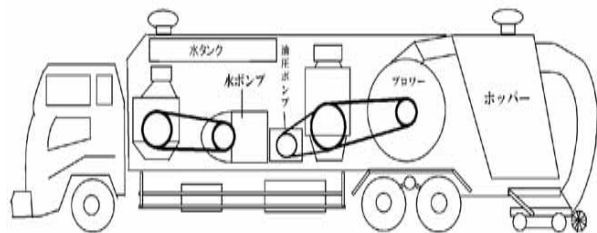
静岡県交通基盤部

事業効果の発現状況(例)

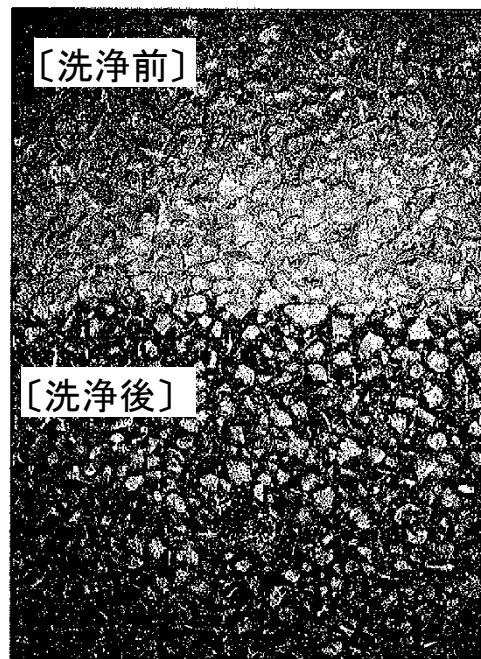
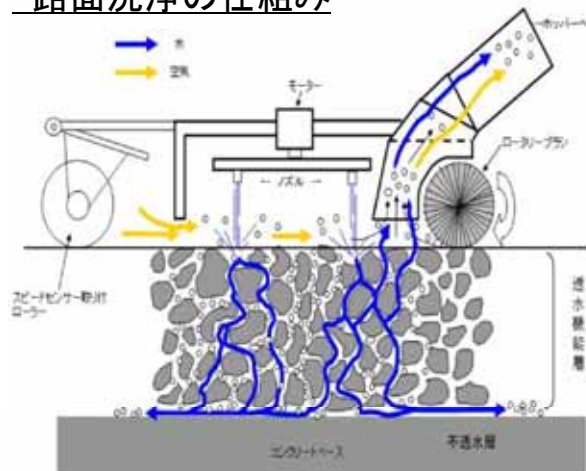
効果促進事業(低騒音舗装効果維持対策)

既設の低騒音舗装の路面を清掃し、騒音レベルの追跡調査を行うことで、低騒音舗装の効果減退抑止対策(路面清掃)の効果を検証しました。

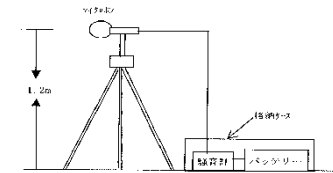
・回復機



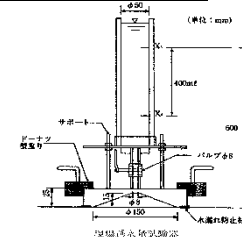
・路面洗浄の仕組み



・騒音測定



・透水機能調査



・コア観察

